

2017.03

富士山のような真っ白い印伝ができました。

日本初で日本発！

真っ白な国産鹿革のロックなネオジャポニズムデザインの  
印伝ブランド「URUSHINASHIKA」が登場。



農林業被害などの社会的課題へもアプローチ！

環境負荷が極めて少ない鞣しの技術から生まれた、世界へ誇る甲州印伝

有限会社セメントプロデュースデザイン(本社:大阪市西区京町堀、代表取締役:金谷 勉)は、「有限会社印伝の山本」、「山梨県(工業技術センター)」と協業で、印伝のカードケースと財布シリーズを2017年2月に開催されたギフト・ショーで発表いたしました。

鹿革に漆をつけて模様をつくる山梨県の甲州印伝は、江戸時代から続く伝統工芸品の一つです。

今回、その伝統にモダンをプラスして今までの印伝にありそうでなかった、日本初であり日本発の真っ白な印伝のカードケースと財布のシリーズを生み出しました。伝統的な柄の鹿子(かのこ)からモダンなカモフラまで、伝統工芸士による技術により繊細な柄を表現。大人が粋を感じるデザインに仕上げています。また、環境負荷が極めて少ない鞣し技術を用いているものの特徴の一つです。

素材の鹿革は、害獣として駆除されていたニホンジカを採用。近年、ニホンジカの増加に伴い発生した、森林・農業被害の改善へもアプローチし、農林業被害といった社会的課題の解決と伝統工芸の振興を結びつけ、新たな価値づくりを目指します。

発売は6月より、ショップ コトモノミチや全国のライフスタイルショップなどを中心に発売を開始いたします。

鹿革と漆の特性を巧みに融合させた印伝ならではの独自の風合い、手触りをお楽しみください。

《本リリースに関するお問い合わせ》取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR担当 株式会社Casokdo 五十嵐 洋

住所: 〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail: igarashi@a-ms2.com TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637

2017.03

## <商品情報>

### 印伝から"inden"へ。 しなやかさと強さと、白さ。

鹿革に漆をつけて模様をつくる山梨県の伝統工芸、甲州印伝。  
その甲州印伝には環境負荷が極めて少ない鞣し技術を用いてできた真っ白な山梨県産の鹿革。  
「URUSHINASHIKA」は、甲州印伝の新たなスタンダード。  
江戸時代から続く甲州印伝の技術から生まれた今を生きる大人の必需品「URUSHINASHIKA」をお楽しみください。

#### ❁ card case



kanoko



paisley



#### ❁ wallet



kanoko



paisley



6月:初回限定販売(財布40個、名刺40個)

カラー:ホワイトのみ

デザイン:kanoko/paisley/camouflage

■Wallet

size:w195×h95×d15mm

price:¥30,000-(tax in ¥32,400-) 予定価格

■Card Case

size:w110×h75×d15mm

price:¥15,000-(tax in ¥16,200-) 予定価格

8月:正式販売開始

カラー:ホワイト、ネイビー、グレー

デザイン:kanoko/paisley/gradation/persian/camouflage

■Wallet

size:w195×h95×d15mm

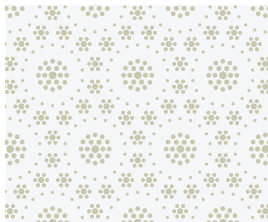
price:¥30,000-(tax in ¥32,400-) 予定価格

■Card Case

size:w110×h75×d15mm

price:¥15,000-(tax in ¥16,200-) 予定価格

#### ❁ pattern



kanoko



paisley



gradation



persian



camouflage

※デザインや仕様の変更が予告なく発生することもあります。あらかじめご了承ください。

《本リリースに関するお問い合わせ》取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR担当 株式会社Casokdo 五十嵐 洋

住所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail:igarashi@a-ms2.com TEL:03-5436-7636 携帯:090-1761-1417 FAX:03-5436-7637

2017.03

## <URUSHINASHIKA 特徴>

### ニホンジカによる害獣被害を解決する 甲州印伝

近年、ニホンジカの増加に伴い、森林・農業被害が深刻化しています。

被害対策として捕獲が進められていますが、そのほとんどは廃棄処分されてしまいます。

本商品では、この山梨県のニホンジカの革を甲州印伝の素材として活用しています。

農林業被害といった社会的課題の解決と伝統工芸の振興を結びつけ、新たな価値づくりを目指します。

### 環境負荷の極めて少ない、 印伝ではじめての真っ白な鹿革

現在、市場に流通している皮革のほとんどは安価で大量生産向きのクロム剤で鞣されています。

一方で、クロム剤は環境や人体に影響を与える物質としても知られています。

本商品では、環境負荷が極めて少なく、柔らかく鞣すことのできる技術を用い、一般的な鞣しでは得ることのできない真っ白な革を作製しています。

### -印伝- 鹿革に漆で模様をつける伝統的技法

手になじみ滑らかで軽い鹿革に、漆で描かれた様々な柄が艶めく甲州印伝。

古来の技法で丁寧に作り込まれた品々は、現代にも受け継がれ、生活を彩る実用美として多くの人々から愛されています。

また稀少な日本の革工芸文化を伝える役割も担っております。

### 繊細な柄を正確に再現する 伝統工芸士による技術

甲州印伝の特徴は漆で描かれた様々な模様の美しさ。

鹿革の上に型紙を置き、ひと塗りで全体に均一になるように模様をつける技術は先人より伝わる伝統的技法。

鹿革と漆の特性を巧みに融合させた印伝ならではの独自の風合い、手触りを生み出しています